

収 支 決 算 書

収入の部

款	項	目	金額 (円)	内訳 (節内訳を記載すること)
14. 県支出金	2. 県補助金	7. 民生費 県補助金	235,000円	子どもを支える人権の まちづくり促進事業補助 金
一般財源	一般財源	一般財源	237,142円	
合計			472,142円	

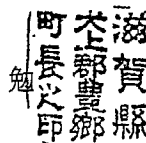
支出の部

款	項	目	金額 (円)	内訳 (節内訳を記載すること)
3. 民生費	1. 社会福祉 費	● ● ●	消耗品費 40,992円	インク・インジェクト代 用紙代
			使用料 431,150円 及び賃借料	バス借上料
合計			472,142円	

上記のとおり相違ないことを証明します。

平成20年4月10日

豊郷町長 伊藤 定 知



事業の内容

名 称	体験学習会	仕事の見学・体験学習会	
対 象	小学生とその保護者	中学生とその保護者	
内 容 (テーマ)	体験学習を行う (親子と共に防災意識 を高める。)	体験学習を行う (暮らしの中の科学や自 然科学について学習す る。)	
参 加 者 (うち児童 生徒数)	58 人 (35)人	24 人 (11)人	
実施場所	京都市 (京都市防災センター)	三重県 (こどもサイエンスプラザ)	
開催期間	平成19年 7月27日 ～ 平成19年 7月27日	平成19年 8月 1日 平成19年 8月 1日	
開催時間	8時間×1日=8時間	8時間×1回=8時間	
事業実施 による 成 果	<p>災害時の模擬体験をし、災害の恐ろしさを実感し防災意識を高める。 暮らしの中の科学や自然科学を学習すると共に、そこで働く人たちの仕事を見学することにより、働くことの大切さやきちんとした職業間を身につけ、自分の将来に向け努力する事を学ぶ。</p>		

※ 1市町村において複数の施設で実施する場合は施設毎に作成のこと

※ 事業実施計算書は別紙共通様式により提出すること

事業の内容

名 称	学習会	工場見学	
対 象	小学生とその保護者	中学生とその保護者	
内 容 (テーマ)	体験学習を行う (親子のつながりを深め、学習習慣を身につける。)	工場見学を行う	
参加者 (うち児童生徒数)	59 人 (34)人	26 人 (15)人	
実施場所	三重県 (みえこどもの城)	大阪府 (サントリー・山崎蒸留所の見学)	
開催期間	平成19年 7月29日 ～ 平成19年 7月29日	平成19年 8月19日 平成19年 8月19日	
開催時間	8時間×1日=8時間	8時間×1回=8時間	
事業実施 による 成 果	<p>私たちが生きる宇宙や地球への関心や好奇心を広げ、親子で学習をすることを機として親子のきずなを深める。 将来の進路について学び、働くことの大切さやきちんとした職業観を身につけ、自分の将来に向かって努力する。</p>		

※ 1市町村において複数の施設で実施する場合は施設毎に作成のこと

※ 事業実施計算書は別紙共通様式により提出すること

事業実施計算書

市町 豊 郷 町

区分	費目	金額	積算の基礎
補助対象経費	消耗品費 使用料及び 賃借料	円 40,992 431,150	学習会 キングファイル 6,300円
			印刷用紙 3,661円
			工場見学 インク・インジェクト用紙 16,947円
			体験学習 インクカートリッジ
			2回×1,008=2,016円
			” マジック・ファイル 4,746円
			” 印刷用紙 2回×3,661=7,322円
			バス借り上げ料 (工場見学)
			120,000円×1台×1回=120,000円
			バス借り上げ料 (学習会)
118,800円×1台×1回=118,800円			
バス借り上げ料 (体験学習)			
103,450円×1台×1回=103,450円			
88,900円×1台×1回= 88,900円			
合計 (A)		472,142	
		[補助金額 (A)×1/2]	[235 千円]

注) 「積算の基礎」欄は可能な限り会議・説明会等の事業区分毎に単価や員数等を用いた計算式を記載すること。なお、実施施設数が複数の場合は、実施施設毎に作成し、費目毎の合計額を本様式に計上した総括表を作成すること。

平成19年度子どもを支える人権のまちづくり促進事業実績書

施設名

管内区域

①困難を抱える児童生徒が多く特別な配慮を必要とする管内の現状の変化

(保護者や児童生徒の生活面・学習面等からみた管内の状況の変化)

②取り組みの成果

事業を実施し、取り組みの成果としては、親子のふれあいを深め体験学習をする交流の場として健全育成を図れた。学習面では勉強に意欲のある子が来館するだけで、問題のある子に対しては対応できていない。今後は学校と地域が連絡を密接にとった取り組みを行いたい。

③今後の方針等

(上記①および②をふまえ、事業実施後の課題や改善点など)

生活面の乱れが学習にも深く影響することから、研修会・講演会等進んで参加し、学習内容をスキルアップしていくことがいかに大切であるかを地域の中で学習していくことが重要である。また、将来安定した職業に就くためにも学習することが大切であることを再認識してもらう。工場見学や体験学習を経験することにより、将来の目標にむかって堅実に歩めるよう指導していく。

平成19年度子どもを支える人権のまちづくり促進事業実績書 (総括表)

市町村名 豊 郷 町

(単位：円)

事業 区分	事業(集会等)の名称	事業費の内訳							計	
		報 償 費	旅 費	消 耗 品 費	印 刷 製 本 費	通 信 運 搬 費	保 險 料	維 役 務 費		使 用 料 及 び 賃 借 料
ウ	学習会			9,961					118,800	128,761
ウ	工場見学			16,947					120,000	136,947
ウ	体験学習会			14,084					192,350	206,434
	合 計			40,992					431,150	472,142